## 2023 年度版

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪河﨑リハビリテーション大学

## I. 規程及び体制等の整備状況

## 1. 機関内規程

1)	評価結果
	■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
	□ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
	□ 機関内規程が定められていない。
2)	自己点検の対象とした資料
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
	基本方針に適合する機関内規程が適正に定められている。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。
2.	動物実験委員会
1)	評価結果
	■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
	□ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
	□ 動物実験委員会は置かれていない。
2)	自己点検の対象とした資料
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
	基本指針に適合する動物実験委員会が適正に設置されている。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。

## 3. 動物実験の実施体制

0. 255 175	2000 - 2000 H 191
1) 評価	結果
-	基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
	動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
	動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料
大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程
大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
基本指針に適合した動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。
4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制
1) 評価結果
□ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
□ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
■ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
該当なし。
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点があれば、明記する。)
該当なし。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。
5. 実験動物の飼養保管の体制
1) 評価結果
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程
大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験委員会規程
特定外来生物の飼養等許可証
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
指針に定義する実験動物以外の飼養(両生類)であるが、適正な飼養保管の体制である。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当なし。

6.	その他(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)
	特になし。
${\rm I\hspace{1em}I}$ .	実施状況
1.	動物実験委員会
1)	評価結果
	■ 基本指針に適合し、適正に機能している。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料
	大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程
	大阪河崎リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
	大阪河崎リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
	学内諸規則に基づき、適正な委員会活動が実施されている。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。
2.	動物実験の実施状況
1)	評価結果
	■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程実施細則
	大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験委員会規程
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
	2021 年度は、指針に定義する動物実験は行われていないが、適正に動物実験を行うことができ
7	が状況である。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。

3.	安全管理を要する動物実験の実施状況
1)	評価結果
	□ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
	■ 該当する動物実験は、行われていない。
2)	自己点検の対象とした資料
	該当なし。
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
	該当なし。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。
4.	実験動物の飼養保管状況
1)	評価結果
	■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料
	飼養等をする数量の増加、減少等の届出(報告)
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
	指針に定義する実験動物以外の飼養(両生類)であるが、飼養保管は適正に行われている。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。
	施設等の維持管理の状況
1)	評価結果
	■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
	□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
	□ 多くの改善すべき問題がある。
2)	自己点検の対象とした資料
	動物飼育棟(現況確認)
3)	評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)
	適正な維持管理が実施されている。
4)	改善の方針、達成予定時期
	該当なし。

6. 教育訓練の実施状況		
1) 評価結果		
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。		
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。		
□ 多くの改善すべき問題がある。		
2) 自己点検の対象とした資料		
生命倫理講習 動物実験に関する教育訓練 動愛法講習 資料		
教育訓練参加者名簿		
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)		
基本方針等に基づいて実施しているため。		
4) 改善の方針、達成予定時期		
該当なし。		
7. 自己点検・評価、情報公開		
1) 評価結果		
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。		
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。		
□ 多くの改善すべき問題がある。		
2) 自己点検の対象とした資料		
大阪河﨑リハビリテーション大学ホームページ		
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)		
「2021年度版動物実験に関する自己点検・評価報告書」をホームページに公表している。		
4) 改善の方針、達成予定時期		
該当なし。		
8. その他		
(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)		
特になし。		